

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	大腸癌術後肝転移に対する非アルコール性脂肪性肝疾患の影響
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 一般・消化器外科学 宮田 隆司
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023 年 3 月
対象者	2007年1月～2014年12月までの間に、当院一般・消化器外科で大腸癌に対する治療を受けられた患者。
当該研究の意義・目的	大腸癌の転移好発部位は肝臓であることはよく知られるが、近年急速に患者数が増加している非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）が癌の転移の宿主因子として注目されるようになってきました。今回の研究は大腸癌の患者の肝転移危険因子を、患者のNAFLDを中心とした基礎疾患の視点からの解析を行い、今後の治療成績のさらなる向上に役立てることを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、患者さんの診療情報を収集し、得られたデータを解析することで大腸癌の肝転移の危険因子となる重要な臨床因子を同定します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。これまでの診療により、上記期間中に得られた診療情報を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 診療情報として、年齢、性別、BMI、ASA、既往歴、腫瘍マーカーを含む血算生化学検査、CT画像、病理検査結果、化学療法の有無（処方薬等）、予後情報等を使用させていただきます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学（病院） 一般・消化器外科 宮田 隆司 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（4273）

作成日： 2019年11月03日